

日本BS放送株式会社

2019年8月期 決算説明会

2019年10月25日



東証一部 コード: 9414

- 2019年8月期 決算 業績ハイライト（連結・個別）
- 当社を取り巻く事業環境
- 2019年8月期施策の成果

代表取締役社長 兼 COO
小野寺 徹

2019年8月期決算 総括(連結)

売上高 **12,601**百万円(前期比 0.9%増 ↑)

営業利益 **1,693**百万円(前期比 30.2%減 ↓)

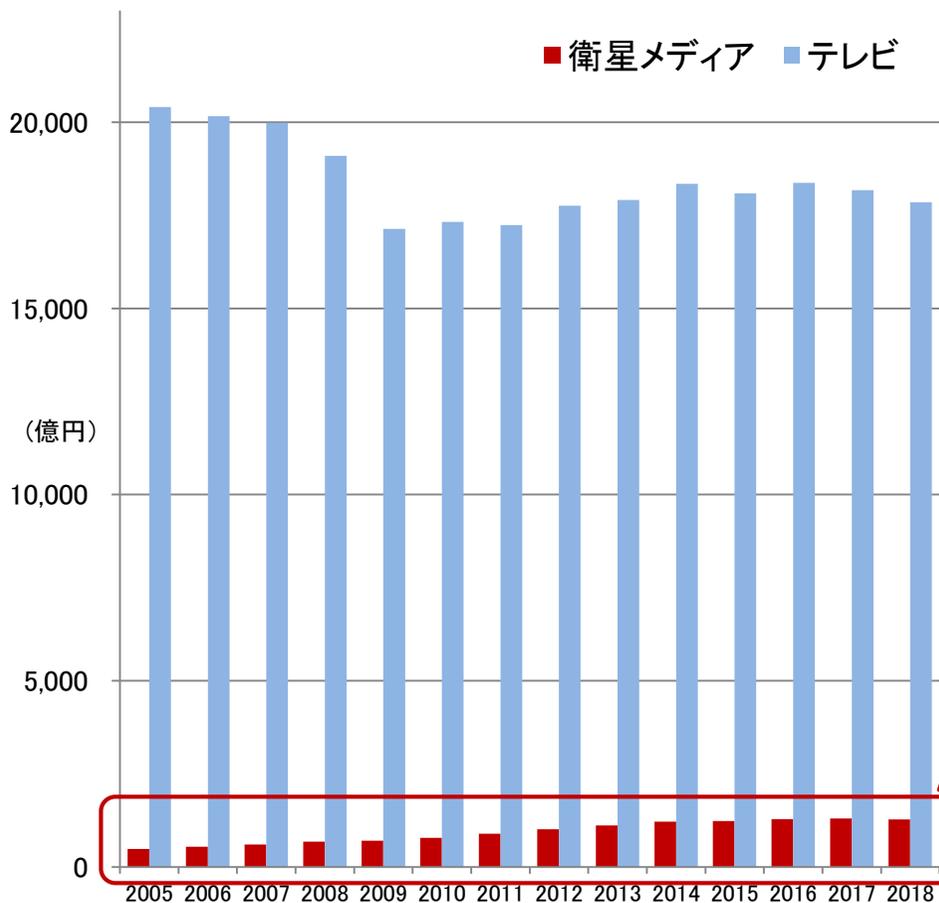
2019年8月期決算 総括(個別)

売上高 **11,792**百万円(前期比 1.8%減 ↓)

営業利益 **1,612**百万円(前期比 33.3%減 ↓)

【地上波およびBS市場の成長は一旦鈍化傾向、ほぼ横ばいで推移】

媒体別広告費



衛星メディア広告費



(出所) 電通「2018年 日本の広告費」 ※ 衛星メディアにはBS放送、CS放送、ケーブルテレビが含まれる

充実の自社制作コンテンツ（レギュラー番組）



多種多彩な特別番組



日本各地の放送局とコラボレーション



アニメ制作委員会出資作品

《制作委員会への出資作品(2018年10月～2019年9月)》



©川上泰樹・伏瀬・講談社／転スラ制作委員会



© Spike Chunsoft Co., Ltd./コンセプト制作委員会



(C)川田／集英社・「火ノ丸相撲」制作委員会



©みなつき・ニツ家あす・COMICボラリス／ひざうえ制作委員会



©2018 夏海公司／KADOKAWA／GAF Project



©2018 鴨志田一／KADOKAWA アスキー・メディアワークス／青ブタ Project



(C)円谷プロ (C)2018 TRIGGER・両宮哲／「GRIDMAN」制作委員会



©卯花つかさ・芳文社／アニメエール！制作委員会



©MAGES./Team B-PRO2



©2019 吉岡 剛・菊池政治／KADOKAWA／賢者の孫制作委員会



©2019 リムコロ／KADOKAWA／世話やきキツネの仙狐さん制作委員会



©筒井大志／集英社・ぼくたちは勉強ができない制作委員会



©2019 Five fairy scholars／フェアリーゴーン制作委員会



©めいびい・講談社／かつ神制作委員会



©CHIROLU・ホビージャパン／白金の妖精姫を見守る会



©2019 井中だちま・飯田ぼち。／株式会社KADOKAWA／お母さんは好きですか？制作委員会

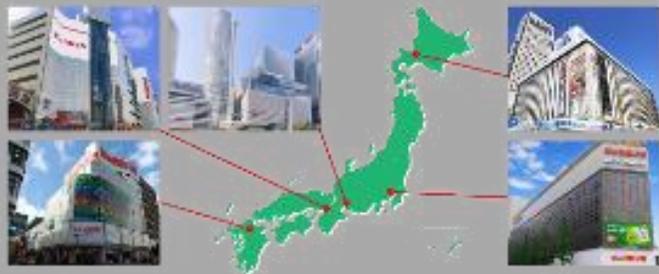
計 **16** 作品に参加

【新規イベント・企画の立ち上げ＝当社の強みを生かした差別化施策】

eスポーツイベントの立ち上げ・放送



ビックカメラグループ店舗で予選実施



主催アニソンライブの実施・放送



- 2019年8月期 決算業績詳細（連結・個別）
- 2020年8月期 計画（連結・個別）
- 配当および株主優待制度

取締役常務執行役員
平山 直樹

売上高は**12,601**百万円（前期比0.9%増）、営業利益は**1,693**百万円（前期比30.2%減）、
親会社株主に帰属する当期純利益は**1,158**百万円（前期比30.2%減）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2018年8月期	2019年8月期						
		実績	前年同期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因(計画比)
売上高	12,494 (100.0%)	12,601 (100.0%)	+0.9%	+107	14,000 (100.0%)	▲10.0%	▲1,398	(売上高)
売上総利益	6,666 (53.4%)	6,230 (49.4%)	▲6.6%	▲436	— (—)	—	—	・放送事業収入… ▲1,508百万円 ・その他収入… ▲199百万円 ・その他収入(出版)… +308百万円
営業利益	2,427 (19.4%)	1,693 (13.4%)	▲30.2%	▲733	2,005 (14.3%)	▲15.5%	▲311	(営業利益)
経常利益	2,425 (19.4%)	1,698 (13.5%)	▲30.0%	▲727	2,005 (14.3%)	▲15.3%	▲306	・放送事業… ▲387百万円 ・出版事業… +76百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,659 (13.3%)	1,158 (9.2%)	▲30.2%	▲500	1,400 (10.0%)	▲17.2%	▲241	

※2018年8月期第2四半期連結会計期間末より四半期連結財務諸表を作成しております。

※計画数値は、期初計画値を使用して実績比較しております。

貸借対照表/キャッシュ・フロー計算書の概要（連結）

貸借対照表

（単位：百万円、下段は構成比）

キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

		2018年8月期末	2019年8月期	
			期末	前年増減額
流動資産		12,114 (63.1%)	12,937 (64.7%)	+822
	固定資産	7,094 (36.9%)	7,055 (35.3%)	▲38
資産合計		19,208 (100.0%)	19,993 (100.0%)	+784
流動負債		2,265 (11.8%)	2,228 (11.1%)	▲37
	固定負債	103 (0.5%)	98 (0.5%)	▲4
負債合計		2,368 (12.3%)	2,327 (11.6%)	▲41
純資産合計		16,839 (87.7%)	17,665 (88.4%)	+825
負債・純資産合計		19,208 (100.0%)	19,993 (100.0%)	+784

	2018年8月期	2019年8月期
営業キャッシュ・フロー	2,049	1,250
税金等調整前当期純利益	2,425	1,699
減価償却費	197	217
売上債権の増減額(▲は増加)	46	▲70
仕入債務の増減額(▲は減少)	34	16
未払金の増減額(▲は減少)	7	249
法人税等の支払額	▲745	▲792
投資キャッシュ・フロー	▲149	▲198
有形固定資産の取得による支出	▲267	▲118
無形固定資産の取得による支出	▲1	▲72
財務キャッシュ・フロー	▲327	▲331
短期借入による収入	-	20
長期借入金の返済による支出	▲5	▲11
配当金の支払額	▲320	▲338
現金及び現金同等物の増減額	1,573	720
現金及び現金同等物の期首残高	8,031	9,604
現金及び現金同等物の期末残高	9,604	10,324

売上高は**11,792**百万円（前期比1.8%減）、営業利益は**1,612**百万円（前期比33.3%減）、
当期純利益は**1,093**百万円（前期比34.5%減）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2018年8月期	2019年8月期						
		実績	前年同期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因(計画比)
売上高	12,015 (100.0%)	11,792 (100.0%)	▲1.8%	▲222	13,500 (100.0%)	▲12.6%	▲1,707	(売上高) ・タイム収入・・・▲934百万円 ・スポット収入・・・▲590百万円 ・その他収入・・・▲181百万円
売上総利益	6,428 (53.5%)	5,821 (49.4%)	▲9.4%	▲606	—	—	—	(段階利益) ・費用は計画内での運用したものの、売上高未達により利益未達
営業利益	2,416 (20.1%)	1,612 (13.7%)	▲33.3%	▲803	2,000 (14.8%)	▲19.4%	▲387	《利益減少の具体的要因》 売上原価： ・良質な番組制作、人気番組の購入に伴う番組関連費用の増加
経常利益	2,420 (20.1%)	1,621 (13.7%)	▲33.0%	▲798	2,000 (14.8%)	▲18.9%	▲378	販売管理費： ・広告宣伝の戦略的实施に伴う広告関連費用の増加
当期純利益	1,670 (13.9%)	1,093 (9.3%)	▲34.5%	▲576	1,400 (10.4%)	▲21.9%	▲306	

※計画数値は、期初計画値を使用して実績比較しております。

	2018年8月期	2019年8月期			
		実績	前年同期比	計画	計画比
売上高	12,015 (100.0%)	11,792 (100.0%)	▲1.8%	13,500 (100.0%)	▲12.6%
タイム収入	8,742 (72.8%)	8,658 (73.4%)	▲1.0%	9,593 (71.1%)	▲9.7%
スポット収入	2,933 (24.4%)	2,762 (23.4%)	▲5.8%	3,353 (24.8%)	▲17.6%
その他	338 (2.8%)	372 (3.2%)	+10.0%	554 (4.1%)	▲32.8%

主な増減要因(前年同期比)

■ タイム収入

・テレビ通販の縮小や広告媒体多様化による業界環境変化の影響を受けたことにより売上高は減少するも、良質な自社制作番組の強化により番組提供クライアントの販売単価が堅調に推移し前期比微減にて着地

■ スポット収入

・テレビ通販業界の環境変化による売上高減少に対し、効果的な広告宣伝の実施により媒体価値の向上を図り、新規クライアントの獲得に注力することにより減収幅を低減

■ その他

・アニメ制作委員会への出資に伴う配当金等収入や良質コンテンツ販売収入が増加

主要費用項目実績（個別）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2018年8月期	2019年8月期		
		実績	前年同期比	主要な増減要因
番組関連費用(原価)	3,736 (31.1%)	4,122 (35.0%)	+10.3%	
番組購入費	652 (5.4%)	700 (5.9%)	+7.4%	ドラマや映画などの人気作品購入を推進
番組制作費	3,083 (25.7%)	3,421 (29.0%)	+11.0%	良質な自社制作コンテンツの強化を図り、番組内容のより一層の充実による増加(キャスティングの強化等)
放送関連費用(原価)	628 (5.2%)	630 (5.3%)	+0.3%	
放送委託費	555 (4.6%)	555 (4.7%)	-	
技術費	72 (0.6%)	74 (0.6%)	+2.5%	
広告関連費用(販管費)	1,327 (11.0%)	1,501 (12.7%)	+13.1%	
広告宣伝費	1,248 (10.4%)	1,423 (12.1%)	+14.0%	番組宣伝や局認知向上施策として、効果的なタイミングや媒体を見極め、積極的且つ効率的に費用を投下(新聞・WEB・チラシ等)
販売促進費	79 (0.7%)	78 (0.7%)	▲0.8%	

貸借対照表（個別）

		2018年8月期	2019年8月期		
			実績	増減額	主要な増減要因
資産	流動資産	11,438 (61.7%)	12,161 (63.3%)	+723	・現金及び預金の増加 +684百万円 ・売掛金の増加 +18百万円
	固定資産	7,092 (38.3%)	7,060 (36.7%)	▲32	
資産合計		18,531 (100.0%)	19,222 (100.0%)	+691	
負債	流動負債	1,594 (8.6%)	1,516 (7.9%)	▲78	・買掛金の減少 ▲11百万円 ・未払金の増加 +245百万円 ・未払法人税等の減少 ▲263百万円
	固定負債	85 (0.5%)	94 (0.5%)	+8	
負債合計		1,680 (9.1%)	1,610 (8.4%)	▲69	
純資産合計		16,851 (90.9%)	17,611 (91.6%)	+760	・利益剰余金の増加 +755百万円
負債・純資産合計		18,531 (100.0%)	19,222 (100.0%)	+691	

売上高は**13,000**百万円（前期比3.2%増）、営業利益は**2,010**百万円（前期比18.7%増）、
親会社株主に帰属する当期純利益は**1,380**百万円を計画（前期比19.1%増）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2019年8月期		2020年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売上高	6,076 (100.0%)	12,601 (100.0%)	6,200 (100.0%)	+2.0%	13,000 (100.0%)	+3.2%	+398
営業利益	953 (15.7%)	1,693 (13.4%)	980 (15.8%)	+2.7%	2,010 (15.5%)	+18.7%	+316
経常利益	954 (15.7%)	1,698 (13.5%)	980 (15.8%)	+2.6%	2,010 (15.5%)	+18.3%	+370
親会社株主に帰属 する当期純利益	646 (10.6%)	1,158 (9.2%)	670 (10.8%)	+3.6%	1,380 (10.6%)	+19.1%	+221

売上高は**12,300**百万円（前期比4.3%増）、営業利益は**2,000**百万円（前期比24.0%増）、
当期純利益は**1,380**百万円を計画（前期比26.2%増）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2019年8月期		2020年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売上高	5,752 (100.0%)	11,792 (100.0%)	5,900 (100.0%)	+2.6%	12,300 (100.0%)	+4.3%	+507
タイム収入	4,253 (73.9%)	8,658 (73.4%)	4,270 (72.4%)	+0.4%	8,860 (72.0%)	+2.3%	+201
スポット収入	1,315 (22.9%)	2,762 (23.4%)	1,430 (24.2%)	+8.7%	3,040 (24.7%)	+10.1%	+277
その他	183 (3.2%)	372 (3.2%)	200 (3.4%)	+9.2%	400 (3.3%)	+7.5%	+27
営業利益	927 (16.1%)	1,612 (13.7%)	980 (16.6%)	+5.7%	2,000 (16.3%)	+24.0%	+387
経常利益	930 (16.2%)	1,621 (13.7%)	980 (16.6%)	+5.3%	2,000 (16.3%)	+23.3%	+378
当期純利益	633 (11.0%)	1,093 (9.3%)	670 (11.4%)	+5.8%	1,380 (11.2%)	+26.2%	+286

2020年8月期は、期末配当金 20.0円を計画

配当政策の基本方針

- ・ 当社は、BSデジタル放送事業者という高い公共性に鑑み 永続的且つ健全な経営の維持に努めるとともに、財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、将来の事業展開等を総合的に勘案した上で、長期にわたり**安定した**利益配当を**継続的に**実施する方針です。
- ・ **年1回**の期末配当を行うことを基本とします。

年間配当金

	2015年 8月期	2016年 8月期	2017年 8月期	2018年 8月期	2019年 8月期	2020年 8月期 (予想)
年間配当	15.0 円	17.0 円	18.0 円	19.0 円	20.0円	20.0円
普通配当	13.5 円	17.0 円	18.0 円	19.0 円	20.0円	20.0円
記念配当	1.5 円	0 円	0 円	0 円	0円	0円
1株当たり当期純利益	68.34 円	82.04 円	85.27 円	93.19 円	65.08円	77.51円

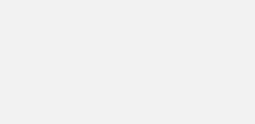
※1株当たり当期純利益の数値は、2017年8月期以前は個別、2018年8月期以降は連結で表示しております。

株主優待制度の概要

- ・ 8月末日、2月末日を基準日として、年2回の株主優待を実施
- ・ ビックカメラグループ全店で利用可能な「ビックカメラ商品券」1,000円券1枚を贈呈
- ・ 各基準日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式1単元(100株)以上保有されている株主様が対象

長期保有株主優待制度の概要

- ・ 以下の2要件の両方に該当する株主様に対し、「ビックカメラ商品券」(1,000円券)を追加贈呈
 - ①基準日(毎年8月末日、2月末日)の当社株主名簿に連続3回以上同一株主番号で記載または記録されたこと
 - ②当社株式1単元(100株)以上を継続して保有されていること

基準日		2月末日	8月末日
贈呈時期		5月	11月
贈呈内容	株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚
	長期保有株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚

- 2020年8月期 重点経営施策
- 中期経営計画

代表取締役社長 兼 COO
小野寺 徹



重点施策“Value 7”

- I. 独立TV局の強みを最大限に活用
- II. 自社制作番組の充実
- III. 情報番組の選択と拡大
- IV. アニメ関連事業の強化と発展
- V. 他企業・ローカル局コラボの促進
- VI. スポーツコンテンツの充実
- VII. 放送周辺事業の新規開発と増強

マーケティング“力” Marketing	データベースを用いて潜在的な需要を喚起
企画“力” Planning	視聴者やクライアントのニーズを捉え、的確な企画立案
戦略構築“力” Building	環境変化に応じて機動的かつ効果的な戦略を構築
実行“力” Performance	知恵と知識を絞りチーム一丸となって戦略を強力に実行

I. 独立TV局の強みを最大限に活用

- ・ メディア各社を中心とした他企業とのコラボ推進

II. 自社制作番組の充実

- ・ 価値ある独自性番組の追求
- ・ 個別番組収益率の更なる重視

従来以上にコストコントロールを強化
利益の確保を重視

Ⅲ. 情報番組の選択と拡大

- ・ 新たな企画の共同開発・協業活発化

Ⅳ. アニメ関連事業の強化と発展

- ・ アニメ番組の強化、周辺事業への発展

Ⅴ. 他企業・ローカル局コラボの促進

- ・ 番組共同制作をはじめとした協力関係の強化

VI. スポーツコンテンツの充実

- ・ eスポーツの取組強化
- ・ 過去のアーカイブ映像を活かしたスポーツコンテンツの充実

VII. 放送周辺事業の新規開発と増強

- ・ コンテンツのマルチユース推進（二次利用促進）
- ・ アニメ派生イベント事業の強化
- ・ ネット配信事業の推進・強化・充実

コンテンツのクオリティアップを継続し
二次利用、イベント等多角展開

2019年10月番組改編により新番組放送開始





BS11 × 学生e-sports

予選①

ONLINE予選

全国対象にONLINE予選を実施。
上位3名が決勝大会にコマを進める。



決勝本戦進出者
3名

予選②

OFFLINE予選

北海道・東北・関東・中部・関西・中四国・九州各地、全8カ所の
ビックカメラ店頭にてOFFLINE予選を実施。それぞれの会場で
勝ち上がった1名(東京は2名)、計9名が決勝大会にコマを
進める。

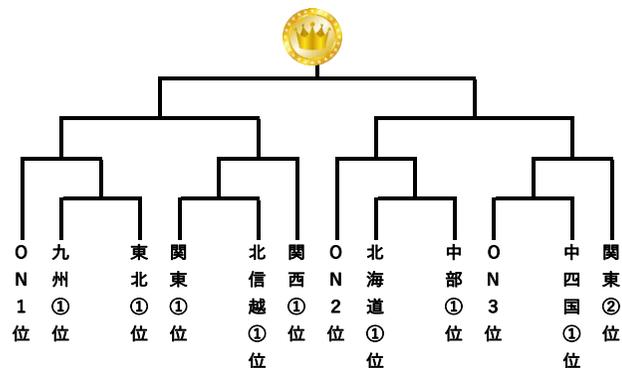


決勝本戦進出者
9名

12月15日(日)

決勝大会 (OFFLINE)

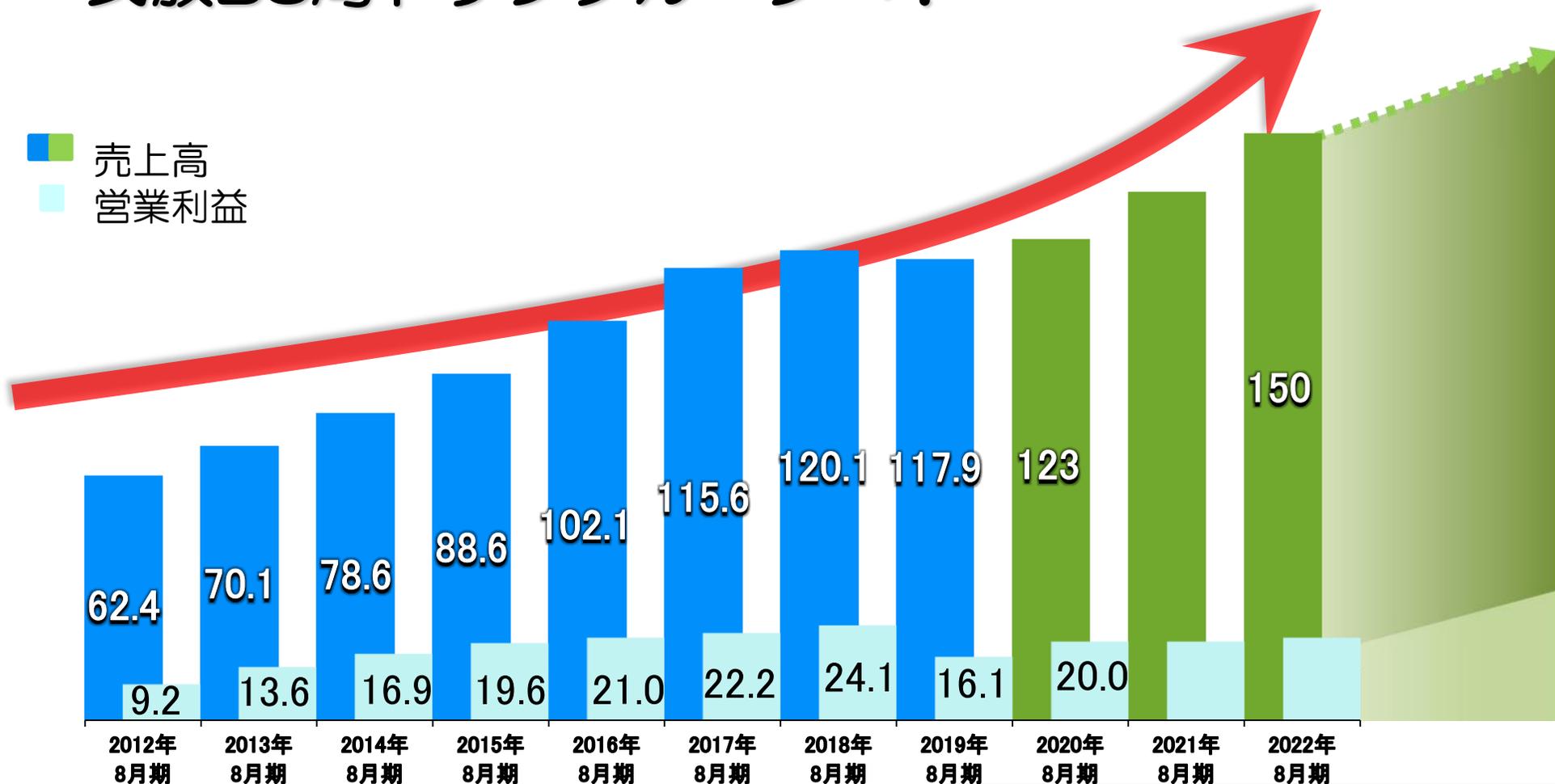
BS11 13階ホールでのオフライン決勝大会
決勝大会に勝ち上がった12名(男女混合)でウイニング
ゲイレブン学生チャンピオンを決める。



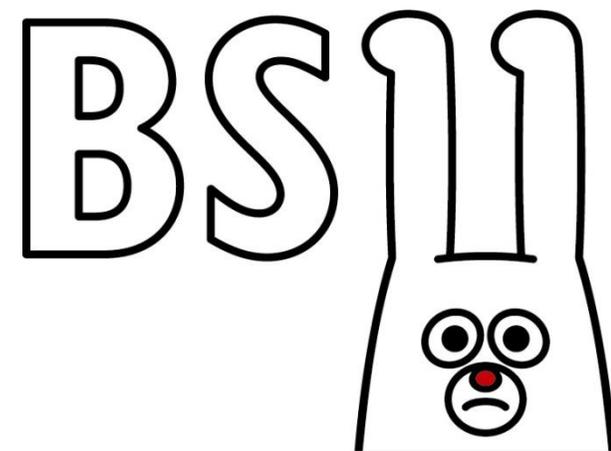
2022年8月期 売上高150億円 ～民放BS局トップグループへ！～

(単位:億円)

■ 売上高
■ 営業利益



ご参考



会社概要

本社	東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地
事業内容	全国無料のBSハイビジョン放送“BS11”チャンネルの運営
代表者	代表取締役会長 兼 CEO 齋藤 知久 代表取締役社長 兼 COO 小野寺 徹
設立	1999年8月
資本金	4,183,198千円 (2019年8月31日現在)
従業員数	117名(連結) (2019年8月31日現在)

沿革

1999年8月	株式会社ビックカメラにより、衛星放送の番組及び普及に関する調査研究を目的として設立
2000年12月	BSデジタルデータ放送開始
2004年9月	東経110度CSデジタル放送開始
2007年12月	BSデジタルハイビジョン放送(BS11)開始
2010年 4月	一般社団法人日本民間放送連盟に入会
2010年11月	株式会社ジュピターテレコム(J:COM)において再送信開始
2011年10月	接触率調査(BSパワー調査)に参加
2014年3月	東京証券取引所市場第2部へ上場
2015年3月	東京証券取引所市場第1部へ上場
2018年1月	理論社・国土社の株式を100%取得し完全子会社化

コーポレートガバナンスの基本的な考え方

当社は、国民共有の希少資源である電波を預かる放送事業者として公共的使命と社会的責任の重要性を深く認識しています。「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え幸せな社会づくりに貢献します」という経営理念のもと、企業の持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るため、実効性のあるコーポレートガバナンスを実現してまいります。

全国どこでも無料で見られるBS放送局の運営

BS放送のチャンネル(全国)

無料/ 有料	有料		無料					有料					無料		
リモコン	1	2	4	5	6	7	8	9	9	9	10	10	10	11	12
放送局名	NH K (BS 1)	NH K (BS プレミアム)	BS 日テレ	BS 朝日	BS-TBS	BS ジャパン	BS フジ	WOWOW プライム	WOWOW ライブ	WOWOW シネマ	スターチャンネル 1	スターチャンネル 2	スターチャンネル 3	当社 	Twelve

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営戦略局 経営戦略部

TEL 03-3518-1900

URL <http://www.bs11.jp/>

